

地区名 能代市・山本郡

所在地 能代市檜山

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

国道7号から琴丘能代道路をくぐり、小友沼方面に向かい、病院のある丘を下ると左手に見えてくる。近くには同様な露頭が点在している。



安全上の留意点

広域農道沿いであるので交通事故には注意させたい。また、田んぼに隣接しているので農家の方への配慮も欲しい。基本的に砂ばかりの層で崩れやすいため、不必要な露頭への刺激は上部層が崩れることにつながりかねない。特に、観察面がえぐれて上部がせり出しているところにおいては、常に指導者の目配りが欲しい。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③川原で見えるような円礫があること。
- ④角ばった火山岩が見あたらないこと。

地質年代

新第三紀鮮新世後期(約200万年前頃)

露頭概観

指導形式

B

解説

笹岡層と見られ、露頭一面に手触りのよい砂が広がっている。構成物は前述の砂岩の他にもう少し粒の細かいシルト岩も含まれる。また、地質図によると段丘堆積物も見られる地域になっているため、露頭の奥には色の違う砂や角のとれた丸い礫が見られる場所がある。これらの構成物から「水のはたらき」によってできた大地だと判断が可能である。

付近には同様な露頭があり、近くの民家の裏手にはさらに大きな露頭がある。学校規模によっては、そちらの許可をとった方がいい場合があるだろう。(筆者独自調査)



粒のそろった手触りのよい砂が全面に広がっている。地層は固まっておらず手で容易に掘ることができる。



砂ばかりの地層は、河口からそれほど離れていない浅い海にたまるので、この大地は当時は海の底だったことを教えてくれる。



奥の方に目をやると川原で目にするような円礫がある。どうやらこの笹岡層の上部に載っている段丘堆積物が崩れて表面を覆っているようだ。